

2015/7/14 小学校 5年 第3回目のP4C

『おおきな木』を読む。

黒板には「第3回 P4C 『おおきな木』」と書いてある。

またキーワードが英字で書いてある。

「T それって本当？」 True

「I どんな考え方や体験があったの？」 Idea

「C でもさ・・・けどね・・・」 Counter Example

「R なんで？ どうして？」 Reason

「W どういう意味？ それってどういうこと？」 What

「A その根拠は？ その前提は？」 Assumption

「E たとえば？」 Example

絵本の読みに7分30秒

先生：（子どもたちに）問い合わせを作って下さい。座って聞いていた子どもたちの輪を崩させ、グループで話し合わせる。黒板に「話し合いたい問い合わせ」と書く。

2分間話し合わせる

（10分経過）

子どもたちはまた黒板の前に座る。次々と手が挙がる。

先生：はい、A君

A：なぜ、木はうれしかったのか？

先生：（板書して）よく似てるっていう人は？¹ はい、Bさん

B：なんで、リンゴを全部もぎ取られても、枝を全部切られても、幹を切られて切り株にされても、うれしいのか？

（同じです、という発言が続く）

先生：（発言を繰り返しながら、板書。前の発言を受けて、その発言の中に、Bの発言を丸く囲んで書く。²）似てる？似てる人は？はい、Cさん。

C：木は本当にうれしかったのか？

¹ ここは、「他に？」と言って、子どもたちに単純に発言を促す方がよかつたのでは。

² ここも、Bけんたろうの発言をそのまま書いてあげた方がよくはないか。そして後にもかかわるが、発言者の名前を書いてあげる。以下の子どもの発言も、板書していくって、子どもたちに、同じか違うかを尋ねるというやり方がある。

先生：「本当に」と言って、その言葉を先ほどと同じように書き込む。はい、Dさん。

D：ぼうやはおおきな木にのぼって何をしたかったのか？

先生：（発言を書き込む）前の発言とは違うね。はい、Eさん。

E：なぜ、木にとっては、不幸なことをやられていったのに、なぜうれしかったのか？

先生：「不幸なことをやられて」ということを板書のBの発言のことと聞いてから板書する。手を挙げている子に対して、～さんはここ？～君もここ？と尋ねている。板書に書いたことは無しで（板書した以外のこと）、と言って、Fさんは違うということを確認して、その子を指す。

F：なぜ木は、年寄りなのにぼうやと呼んでいるのか。

先生：「年寄り」という言葉を「老人」という言葉に変えて、板書。手を挙げている子に、言った、と尋ねて、まだ言っていないことを確認して、あてる。

G：木は、ぼうやのことを、大好きで、ぼうやのことなら自分がどうなってもいいというが、本当にうれしいのか？

先生：「自分がどうなってもいい」という発言を「不幸なこと」とイコールとして板書。他に？

H：どうして木はぼうやのために身まで犠牲にしたのか、それでもぼうやは木にひどいことを言ったり、あんまり思っていなかつたんではないか。

先生：（子どもに確認しながら「どうして木は身を削ってまでつくしたのに、ぼうやは木にひどいことをしたのか？」と板書）いくつ問い合わせありますか？はい、Iさん。

I：4つだと思います。（「同じです」、という発言が続く）³

先生：（4つあることを確認しつつ）ちょっとこれ（木はうれしかったのか、という問い）は複雑だけど、基本の問いは「木はうれしかったのか」ということですね。それでいいですか。4つの問い合わせのうちどれを話し合うか、決めます。（少し時間を取って）決めたよという人？（子どもたちの多くが手をあげる）それでは、1番（人数は板書されたが見えない、20名以上）。2番（0人）。3番（1人）。4番（1人）。今日の問い合わせはこれ（1番）でいいですか。（子どもたち、はい）それでは、観察する人は廊下側に集合、議論する人は輪になつて。（クラスを二つに分けて、観察するグループと議論するグループを作る。観察するグループには大きめの付箋紙を与える。観察するグループは議論するグループの考え方の評価をする。例えば、こういうこととこういうことを繋げて考えられた発表を聞けたのでよかつた。あの時こう言っていたけど、僕ならこう考えるから、こういうふうに考えたらよかつたんじゃないかな、とかいうアドバイスもいいです。座り方、話し方、話し合い方の評価は今日はしません。その人が頭の中で考えていることを評価します。）⁴

³ 上に注記したように、先生が子どもの発言をまとめて板書してしまえば、4つという答えはすぐに出る。子どもの問い合わせをすべてそのまま板書して、これらの問い合わせ同じものがあると思うけど、どれとどれだろう、とか、問い合わせをいくつかにまとめられないかな、と子どもに質問して、答えさせる方法がある。

⁴ 児童の数が40名と多いので、2つのグループに分けている。一つを観察・評価するグル

(話し合いのグループに話しかける) それではいいですか。(問い合わせの確認をする) **J** こだまさんいける? それでは、**J** こだまさんからいこうか。

(3つ目のテープで 19 分経過)

J：さっき **G** 君が言っていたように⁵、木はぼうやのことが大好きだから、あと長い間待つていたから、・・・うれしかったと思います。

K: 僕もうれしかったと思います。木は、小さいころから遊んでて、・・・。**L**さん⁶。

L：私が考えるというか、思うことは、ぼうやが子どもの時に、いつも遊んでくれたり、この周りで遊んでくれたりして、それがうれしくて、大人になって、リンゴをもぎ取られたり、幹を切られたりしても、子どもの時のことがうれしくて、木もそのお返しをしたかったから、それでお返しができてうれしかったんじゃないかなと思います。**M**さん。

M：えっと、私は、どうやってもリンゴの木は思い出を作りたかったから⁸、何をされても、うれしかったんだと思います。Nさん。

N：私もうれしかったと思います。理由は⁹、そのぼうやが小さかった頃に、二人で遊んでたけど、木は一本しかなかつて、周りに誰もいなかつたとして、ぼうやがずっと来てくれるからそれはうれしくって、大人になつても、長い間だけど、1回来てくれて、うれしくつて、それで何をされてもうれしかつたから、それだけでうれしかつたと書いてある¹⁰んだと思ひます。**G**さん

G：僕は、～さんが言ってくれたけど、身を削ってまですることが気にとってうれしいのかって思う¹¹。

O：僕は昔から子どもがずっとこの木の周りで遊んだりしてくれてうれしくて、いつまでもそうやって遊んで欲しかったから、自分の身を削ってでも、ぼうやが遊んでくれたりしてくれたら、うれしかったと思うから、僕は身を削ってでもうれしかったと思います¹²。Hさん。

ープ、もう一つを議論するグループ。その際、観察・評価するグループに対して、評価の視点を指示しているのは、子どもにとってどう評価していいかを示しているので分かりやすい。また、付箋紙を渡して評価を書きこませ、話し合いの後に、それを評価された子どもに示して、説明し、相手からも納得をもらうという相互行為は、評価の共有という点でなかなかいい方法である。

5 単に自分の意見を述べるだけでなく、友だちの発言を受けて意見を述べているのは、お互
いの発言を聞いているということ、それを評価しているということが分る。

⁶ ボールを渡すときに、渡される子の名前を呼ぶのは大事。

⁷ 身を削ってでも、お返しをすることの方を喜ぶという理由を挙げている。

8 思い出を作りたかったという理由

⁹多くの子が、自分の発言に対して理由を述べている。「なぜか」というと」という発言もある。P4Cに慣れている。

10. 一緒にいられること自体がうれしいという理由

11 反論の提出

¹² 一緒にいられることがうれしいという形で、更巨詮

(23分経過) (観察グループの子どもたちは、教室で場所を自由にとって、気が付いたことを書いている。多くは床に付箋紙を置いて書いている)

H：僕は、小さい時から老人になるまで、ぼうやは、ずっと、その木に頼っていたので、暇な時間を頼ってもらっていたので、その時に（じっと考えている様子）、その時に頼ってくれたので、恩返しのつもりで、身を削ってまで、つくしたんだと思いました。**N** さん。

N：えっと、僕は、木はうれしかったと思います。なぜかというと、小さい時から、ずっと、木で遊んでくれたから、身を削ってまで、遊んで欲しかったから、身を削ってまで、ぼうやの気持ちを引き付けて、ずっと遊んで欲しかった¹³と思います。**G** さん。

G：僕は今言ってくれた人の意見を聞いて、納得しました¹⁴。自分にとって大切な人だったら、いつまでも、その一、一緒に遊んだり、話したりし続けたいから、やっぱり、どういう手を使ってでも、ぼうやに来て欲しいという思いはあったと思います。**B** 君。

B：僕は、なぜかというと、皆の意見を聞いて、木にとって身を、ぼうやのために身を削ることは本望だ¹⁵と思います。だから、木はうれしかった。**P** さん。

P：僕は、木はうれしかったと思って、そのわけは、子どもの時に、いっぱい遊んでもらつたから、それで、その子ともう一度会いたかったから、リンゴをあげたり、身を削ったりして、それで来て欲しかったから、来てもらってうれしかった。**O** さん。

(26分経過)

O：僕も、今さっきの **P** 君の意見に賛成です。理由は、さっき、**P** 君は、子どもとずっと一緒にいたいから身を削ってでもと言ってたのが、ずっと、その子と、ぼうやと一緒にいたいというのが、身を削った後に、ぼうやはなかなか来なかつたという言葉が出てきていて、そこで、なかなか来なかつたと書いてあることは、その木は会いたかったということだから¹⁶、自分の身を削ってでも、そのぼうやに会いたかったのだから、**P** 君の意見に賛成しました。**Q** さん。

Q：僕は、木はうれしかったと思います。理由は、ぼうやの時にたくさん木は遊んでもらつたから、また、大人とか老人とかになっても、あの時のことを思い出したり、また遊んでもらいたいなとか、思ったり、なるから、またするから、**P** の言うように、身を削ってまでぼうや……。**R** さん。

R：私も木はうれしかったと思います。小さいころから、木はずっとぼうやに遊んでもらつてて、おつきくなつて、それで、なかなか木は、ぼうやがおつきくなつてからも、木は来て欲しいと思って、おつきくなつて、それで、あんまり、おつきくなつたぼうやはあんま

¹³ ぼうやの気持ちを引き付けて一緒に遊んで欲しかったという理由。

¹⁴ 他の人の意見を聞いて自分の疑問が解かれた。また、その理由も述べている。

¹⁵ 他の人の意見を聞いて自分の考えをまとめる。「身を削るのは本望」（すごい発言だ）

¹⁶ コメンテーターは、ぼうやともう一度会いたいから、木が枝や幹をぼうやに与えるとは言えないのではないかと思ったが、この子はコメンテーターの疑問を先取りして解釈している。

り、木のところには来なくなつて、木は会いたかったけど会えなくつて、それで、何日か経つて、ぼうやが大きくなつて、木は会えたから、身を削つてまで、木は、（どう言おうか考えながら）うれしかつたんだと思ひます¹⁷。Oさん。

O：その、木は、小さいころから、ずっと前に遊びに来てくれた子とかに、リンゴをあげたり、木登りさせたり、していて、それが、その木も、そうさせてあげるのが、自分もうれしかつたと思って、でも、そのぼうやは大きくなつて、リンゴとかを木に登つて食べないと言つても、そんなことをしている暇はないとか言つたりして、それは、そこの部分は、悲しかつたと思うけど¹⁸、聞いてくれなかつたぼうやに対して、どうにかしてでも、この木で遊んで欲しいと思って、身を削つてまでやつたから、僕は、その木はうれしくて、一回やつてもう一回来てくれたのが、うれしくて、自分の身を削つてもやつたと思いました。Sさん。

30分40秒経過

S：木は、ぼうやが小さい時にいつも来てくれていてうれしかつたけど、大人になつてきて、木登りなんかいやだと言つていたけど、一緒にいたいからお願ひを叶えたりしたらずつとまた一緒にいてくれるんじやないかなーと思って、ぼうやが言うことを聞いてまた一緒にいたいから、ぼうやの言うことを聞いて、一緒にいれると思ったと思ひます。Tさん。

T：えつと、僕は、ぼうやが、木のところに来た時に、木はうれしかつて、それで、そのうれしかつたということは、木が、ぼうやに何かをしてあげたいという気持ち¹⁹があると思うから、自分の身を削つても、（少し考えながら）うれしかつたのだと思ひます。

N：私は、みんなの意見に賛成です²⁰。木は、木に登つて、ぼうやの時は、しゃべつてお昼寝とか一緒にしてくれたのに、大人になつてから、もぎとつてそのまま何も言わずにいなくなつてずっと来なかつたりして、5年ごとに、坊やが男の人に変わっていったり、おじいさんになつたりして、1年以上は経つてゐると思うから、それまで悲しかつて、でも、ぼうやの時のことを思い出したら、ぼうやが来てくれたうれしいから、もっと自分で、ぼうやを、嫌なことを・・・、幹を持って行つたりしても怒らなかつたのだと思ひます。Uさん。

U：ぼうやが小さいころは、昼寝を一緒にしていたりしたけど、ぼうやが年を取るにつれて、リンゴとかをもぎつて持つて行かれたり、幹を切られていっても怒らなかつたのは、使ってもらえるだけでも、うれしかつたから²¹だと思います。

B：僕は、身を削つてまでもぼうやに楽しんでもらいたいっていうことだけがうれしいんじ

¹⁷ 議論を聞いて、次第に自分の考えがまとまってきて、発言している。

¹⁸ 「かなしい」というのは、身を削られることではなく、会えないということだと主張。このような理解を後からまとめて改めて発言している。

¹⁹ 「恩返し」ということを別の言い方でしている。

²⁰ 議論によく参加していることが分る。

²¹ 恩返しということに対して、木ということの連想からか、使ってもらえるだけでもという理由を述べる。

やないと思います。ちっさい時は、毎日のように来てくれて、それでもうれしかったけど、大きくなつてからは、時々しか、来れなかつて、その来ていない時間が寂しかったと思うから²²、来てくれたうれしいと思うから、その長い時間が木にとって出来たらうれしいと思われたんだと思います。Pさん。

P：木はすごくうれしい気持ちがあつたと思う。そのわけは、来てもらつたら、うれしいと思って、来てうれしいと思っていたのは、遊んでもらつた時に、それほどなかつたからだと思います。（小さい時は一緒に遊んだのは当たり前だつたが、しばらく来てもらえなくて、それで来てもらつたからうれしいという意味のよう）Nさん。

（35分10秒）

N：僕は、木はうれしかつたと思います。なぜかというと、ぼうやが小さいころずっと来てくれたから、木も親気分になつて、何て言うか、ぼうやが、ぼうやを見ていたり、遊んでもらつたりしていたから、それがもつと、ぼうやが大人になつても、そういうことを、木を登つたり、楽しかつたから、身を削つてまで、そういうことをしたと思います。²³ 先生。

先生：E君の意見の中に悲しいという言葉があつて、O君の言葉の中に寂しいという言葉があつて、何か、本当に木はうれしかつたのかなーということがあつて、本当にということにちょっとこだわるんだけど、例えば、ほらEという言葉があるけど、例えば先生だつたら、遊びに来てくれて体がどんどんなくなつていく、耳がなくなつたり、例えばだよ、手もなくなつて、最後切り株になつて、動けなくなつていくけど、木は動けないから会いに行くことはできない、それって本当にうれしかつたんかなー、悲しかつたり、寂しかつたりという気持ちはなかつたんかなーと、二人の言葉から思います。Vさん。

V（おずおずと手を挙げた）：えっと、私は、本当に木はうれしかつたと思っています。それは長い間木と会えなかつたけど、そのぼうやが、まだ小さい時は、木と一緒に遊んでくれて、木はうれしかつたから、今度は・・・ぼうやに・・・自分を削つて、ぼうやに力になりたいと思った²⁴から、うれしかつたと思います。

W：いろんなところ、いっぱい取られて最後は、幹だけになつて（みんなが切り株と言い直してくれる）、（隣の子に）切り株？²⁵切り株だけになつて、でも子どもの時から遊んでくれた坊やに恩返しが、ぼうやが大きくなるまでにいっぱいお返しができたからうれしかつ

²² 注18の発言と同じ趣旨のことを主張。この場合も、理由を明確に述べている。

²³ ここまで子どもの様子を見ていて、子どもたちが黒板をチラチラ見て発言しているのに気が付いた。特に「身を削つてまでつくしている」という言葉がよく出てくる。議論をこのことから外したくないという意思を強く感じる。議論がぶれない、というよりか、単調になってきている。

²⁴ 先生のコメントに対して、「ぼうやの力になりたい」という理由を挙げて反論。子の子の中には何らかの思いが感じられる。一方、この辺りから、子どもの気持ちが固まって言つているように感じる。

²⁵ 他の子が発言内容を訂正してくれるとともに、本人もそれを確認して言い直している。言葉遣いがまだハッキリしていない状況でも、自分の考えを述べたいという意思を感じる。

たと思います。

P：僕は、少しうれしかったことと、少し悲しかったことがあると思って、理由は、最初に、いっぱい遊んでもらって、その子が来てもらうことはうれしかったんだけど、でも、身とかが取られて、そこは悲しかった²⁶。

O：（えっと、と言って立ち上がる）Pさんの意見に対してなんですか²⁷、ここに（黒板の書き込みを指す）「リンゴをもぎとられても切られてもうれしかったのか」と書いてあるけど、僕は、それに関しては、うれしかったと思います。理由は、昔からいろんな子が遊びに来てくれて言うことを聞いてくれたりして、うれしかったので、これは、木自身が自分から言ったことなので、そこは、木のお願いを聞いてくれるだけでもうれしかったと思って、僕は、悲しいところは、ここではなくて、その子が遊びに来てくれないことが悲しかったと思ったから、この意見とは別で、ここのことに関してはうれしかったと思います。（自分の座っていたところに戻る）（次に誰に当てるか考えている）**X**さん。

（40分45秒）

X：僕も～さんの意見に賛成です。理由は、木はそのぼうやが来てくれないことが一番嫌だったはずで、来てくれたはあげていたのは、ぼうやが来てくれたそれで木は幸せで、来てくれたそれだけでも十分だから、何をされても、多分・・・思ってたと思う。

Gさん。

G：僕は**J**君に聞きたいんですけど、もし木自身が自分だとしたら²⁸、体の一部を削られていくなまで、うれしいと言っているわけで、だから、足とか手とか一部も、全部もぼうやに持って行かれて、それでもうれしいと言い続けるのは、本当のうれしいということなのか、ということです。僕は本当にうれしいというのは本当ではないんじゃないかなと思います。

Q：僕は、みんなと似ているけど、悲しい時もあるし、だからこそうれしい²⁹と思います。理由は、悲しかったことは、ぼうやが長い間来てくれなかつたから、悲しかったり、寂しかったりするけど、それで、もう一生来一へんかつたら、もっと悲しいとか寂しいとかあるけど、それでも来てくれた、それで楽しんでくれたら、もっとうれしいから、僕はそこもあると思います。**T**さん。

T：えっと、僕もPさんの意見に賛成で、理由は、ぼうやがその木に、えっと、会えなかつたことが、時が一番寂しいと思います。で一、その木は、あんまりぼうやが来るのを

²⁶ 先生のコメントを受けて、身を削られることは悲しいことだと主張。

²⁷ 立って、前の子の発言に反論。ここで、悲しいという感情の対象に関して分類する。通常は身を削られることは悲しいことだと思うけど、ここはそうではなくて、会えないことが悲しいことだと主張。ここで、「木は身を削られても本当にうれしかったのか」という問いの本質が見えてくる。

²⁸ 物語を単に解釈したり、主人公の気持ちを読み取るというだけでなく、自分の身に置き換えて、僕だったら本当にうれしいとは言えないと主張。

²⁹ なかなか文学的な表現である。

っと待っていたけど、その、ずっとずっと待っていただけ、会えたら、何か、長い時間待っているのが、その、喜びになるから、僕は・・・。

O：僕も、本当にそういうのにこだわってみても、やっぱり³⁰うれしいと思います。自分の体をそうやって削られるけど、それの感じ方は人次第だと思って、この場合、人じやないけど、木一だけど、優しいから、この時の場合は、優しくて、遊んでもらえるんだったらうれしいから、自分の体を削られてでも、自分を何かに使ってもらったりしたら、それだけでもうれしいから、僕は本当にうれしいんじゃないかなと思いました。**N**さん。

N：僕は、**G**さんの意見に賛成で、えーっと、今までうれしいと思っていたけど、先生の話を聞いて、僕はその木を自分に代えてみると、ぼうやは、腕とか頭とか上半身を取られて、下半身の木になっているということになっているので、それで、それはうれしいというのはちょっとおかしいと思ったので、**G**さんの意見に賛成です³¹。

N：えっと、木は本の中でしゃべっているから、ぼうやと会話ができるんだったら、生きているっていうことだから、本当に生きているんだったら³²、分らないから・・・。

Q：私は、**O**さんの意見に賛成で、人間に例えたら、頭とか取られたら、死んでしまうけど、木だったら、切られても、まだ根っことかが残ってるから、もう一度生えたりするし、まず、木が言いだしたことだし、木が切ってもいいよって、もし自分が木になって、自分が自分を切つていいよって言ったら、自分が責任を持たなければいけないから³³、木は切られて寂しかったとか、そういうのはないと思います。

(47分経過)

先生：まだ続けられそうですか？

子どもたち：はい。

N：先生、4時間目も・・・。

先生：ちょっと休憩を入れようか。

4時間目

普段の教室の形になっている。

先生：観察をしてた人で意見を言いたい人。今、自分の意見を言いたいという人。

(ちょっと間がある)

Y：(後ろを向いて、みんなに話しかける) 僕は、木はうれしかったと思って、それはなぜかというと、小さい頃は仲よく遊んでいたけど、大人になるにつれて、会うのが少なくな

³⁰ 自分の意見に理由を持って固執することは非常に大切。悲しみ方は人によって違う。ここは優しいのでやはりうれしい。

³¹ 今度は反対意見に固執している様子が見れる。

³² 身を削られてもまだ生きているのであってという発言をして、おそらく木はうれしいと結論したいようである。

³³ 木は自分から言い出したことなので、自分が責任を持つのであって、寂しいということはないという新たな展開の可能性のある発言。

っていって、やっぱり、木は、離れていてまた来たら、うれしくなって、それで自分が、ぼうやのために何かできると思ったら、うれしくなるから、僕は、木はうれしかったと思いました。

先生：観察していた人は立ちましょう。ここから、付箋を渡すときは必ずその人に説明してくださいね。本人に意味が分からないと、評価にならないので、アドバイスも含めて、本人に伝えてください。分ったと言つてもらえて、初めてその付箋があります。座っている人は、ちゃんとなぜ付箋に書いてあることが、どういう意味なのかを理解してください。はい、それでは動きましょう。

観察していた子は、自分の意見を書いた付箋紙をもって、対象となる子のところに行って、コメントを伝える。付箋紙を下敷きに貼っている子もいる。発言をしなかった子のところには誰も行かない状況がある。付箋紙をもらった子は自分の自己評価表の裏に貼っている。

先生：ちょっと注意することがあるから、顔をあげて。こっちは（自己評価表の左半分）、話し合い方に関する評価。こっちは（自己評価表の右半分）頭の中、今日の問い合わせに対する理解、頭の中に関する理解、こちらは（左半分）みんなと話しあったことに対する理解。種類が違います³⁴。OK?

³⁴ 評価の視点の違いを指摘しているのは子どもにとって理解しやすい。

問い合わせを出すよう求めた時の発言者 9名

A
B
C
D
E
F
G
H
I

話し合いの中での発言者 18名 (*の数は発言回数)

J*
K*
L*
M *
N *****
G****
O*****
H*
B***
P***
Q***
R*
S*
T**
U *
V*
W*
X*

自己評価表

① 今日のP4Cは楽しかったですか。

5 4 3 2 1
(とても楽しかった) (まあまあ) (楽しくなかった)

② 安心して話すことができましたか。

5 4 3 2 1
(とてもできた) (まあまあ) (できなかった)

③ 自分の考えを友だちの考えにつなげて話せましたか。

5 4 3 2 1
(とてもできた) (まあまあ) (できなかった)

④ 友だちの考え方や思いをじっくり聞くことができましたか。

5 4 3 2 1
(とてもできた) (まあまあ) (できなかった)

⑤ 深く考えることができましたか。

5 4 3 2 1
(とてもできた) (まあまあ) (できなかった)

⑥ 今日のファインプレーはだれですか。その理由も書きましょう。

各児童の自己評価点

1 3,3,5,5,5,5,4,5,5,5,4,4,4,3,5,5,5,5,5,5,5
 2 1,4,5,4,1,5,4,5,5,5,1,0,2,5,3,5,4,5,4,3,5
 3 1,3,5,5,1,5,4,1,5,5,4,1,2,1,5,1,5,3,5,5,4,5
 4 5,3,4,5,5,5,5,5,5,3,5,2,3,5,5,5,5,4,5,5
 5 3,4,5,5,5,5,1,5,5,5,4,2,3,5,5,5,5,5,5,5

1 4,5,4,5,3,4,4,3,5,5,4,4
 2
 3
 4 5,4,5,5,4,4,5,5,5,4,5,5
 5 5,4,4,5,2,4,3,4,5,0,5,3

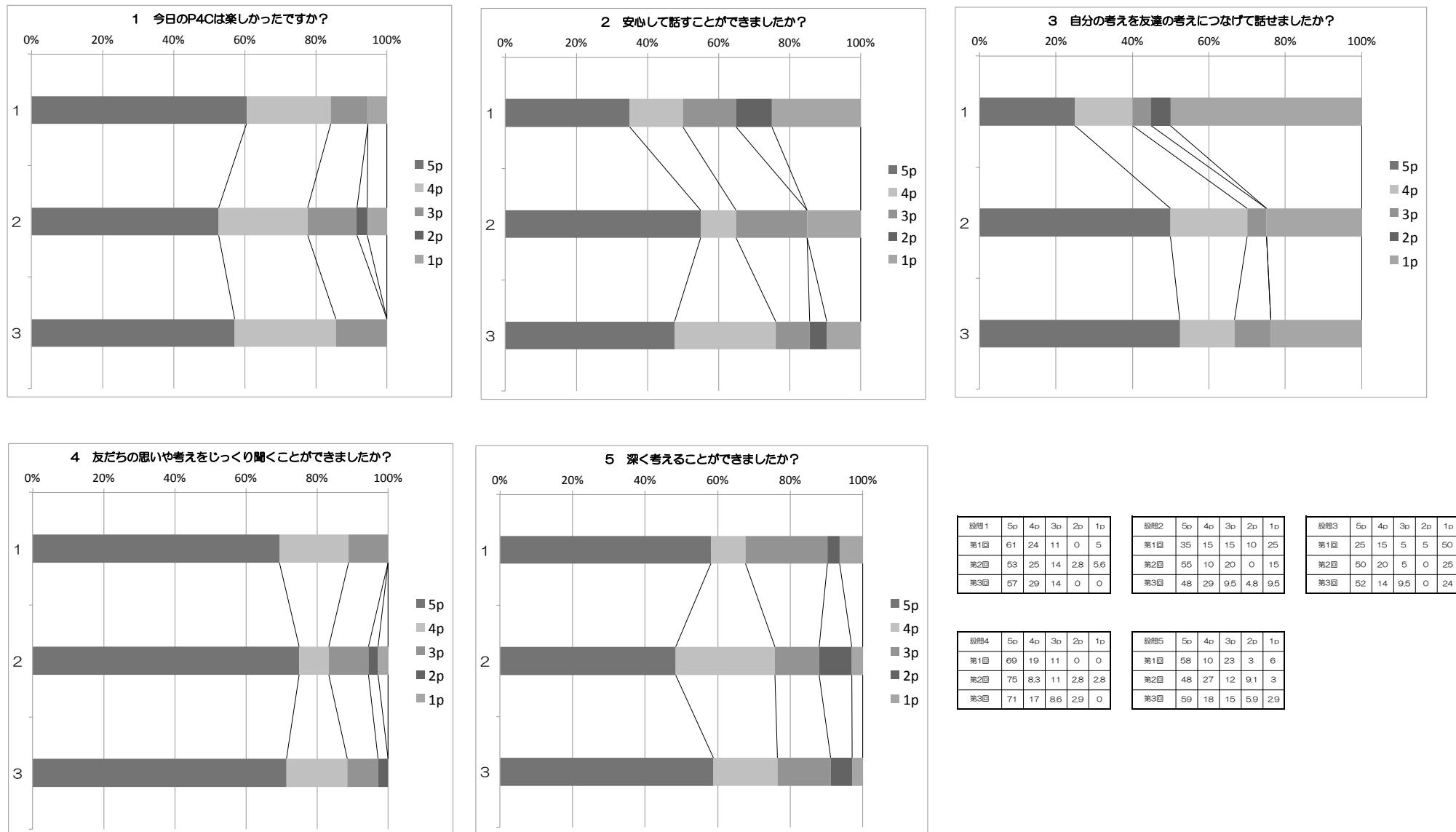
1~5 の評価をしなかった児童

1

	5	4	3	2	1	評価無し	計
1	15,	4,	3,	0,	0	0,	22
2	10,	5,	2,	1,	3,	1,	22
3	10,	3,	2,	1,	6,	0,	22
4	16,	2,	3,	1,	0,	0,	22
5	16,	2,	2,	1,	1,	0,	22
計	67,	16,	12,	4,	10,	1	110
	60.9%	14.5%	10.9%	3.6%	9.1%	0.9%	
	75.4%		10.9%		12.7%		
		86.3%					

子どもたちが P4C の授業を楽しんでいる理由の一つには、「僕は」「私は」という形で、自分の考えていることを発言できるということが楽しいのではないか。議論の間、にこにこしている子が多いのに気が付いた。

(別資料)3回実施した授業に対する子どもの自己評価の比較



第 1 回 P4C 2015. 7. 6

ふり返り

ぼくはしあわせとは分からなくて
考えたことがなかったから分
からない。みんな言っているこ
とけなにかなと思って聞いて
いたいろいろな答えの中で、
しあわせは楽しい時だと思
いますと言った子がいたらぼく
にとっては好きな食べ物をな
んぼても食われる時が好き
な男の子とたまに遊ぶ時だ
と思った。もしかしてこれがし
あせかと分かってもあってある
と思ったのではと考えてみたい。

第 2 回 P4C 2015. 1.

今日の問い合わせに対するふり返り

今日の問い合わせはゆうきはどうか
くるのか?でした。ぼくはゆう
きとは心からくると思いま
す。理由はちうせんする時
や分かっていてもまちがいたら
いやだなとか思って手を上げ
なかつたりするのは全部心
で思ったり感じたりするからゆ
うきも同じと思つたからです。
ぼくはきのうは分からなか
って友達に聞いて分つたけど、
今日はゆうきはどうからくるのか
をちゃんと自分で考えた。

第 3 回 P4C 2015. 7. 14

今日の問い合わせに対するふり返り

ぼくは先生の話のたんだん体が
なくなっていくのはかなしくな
いのか?のことについてぼくは
つとはかしいかもしれない
けどうれしいこともあると思う。
ちよとがないと思う所はりんご
をもぎとられたり切られたり
する所でうれしい所はぼうかと言
ってしきうほど好きな男の人か
最後自分のきりかぶにずっとさわ
ってくれる所です。だからうれし
い所もあれば悲しい所もある
といつかぼくは答えたと思う。

(別資料) ディスカッションに参加しなかった子どもが参加した子どもへの評価の一例 (名前は消しています)

前の人意見を聞いてつ
なげていえているし、その中
に自分の考えも入っているの
がいいと思いました。

子どもの時のことも考
えてから意見にしてい
ているところがいい
と思いました。

前の人につなげているし、
「おおかえし」したしかにそうだ
と思います。

木はぼうやが子どものころから
あそんでくれていてそのおかげで
にりんごをもぎくられても
木はうれしかったという
意見はいいと思うよ。ひ
さんせ!!

ぼうやか
小さい時と大きくなったら
のことばに比べられていい
から、いいと思いました。

〈考え方〉
・木を人間としたとえて。
・それは本当を考えた。

なぜ、ぼうやが切り取って、
やつしまったのにうれしいのが。
→もとへりたい
未でくされたから→ 小さいさうのよ、
でそ、行ってしまって、 に、もっと来て
悲しい
→ 木はい
こうにそ
どりいたる
悪い人生で、 → 豆腐の中
夢のために、
やじになつた。 セガとつた。

考え方

・自分と比べてみる
・木の気持ちによ、考
る

私は、国語でならった。
人と比べる、をしました。
人と比べて意味を言った
り例えてりして、国語でな
らった事を生かして、わかり
やすく発表しました。
ほかにも、もっとわかりやすい
いいかたがあつたかもだけ
ど私は、国語でならった

考え方
何かを自分に
たとえる
比べる
などを使う
自分で問う
かける
問い合わせる